

## 第2章 子ども・子育てを取り巻く東大和市の現状

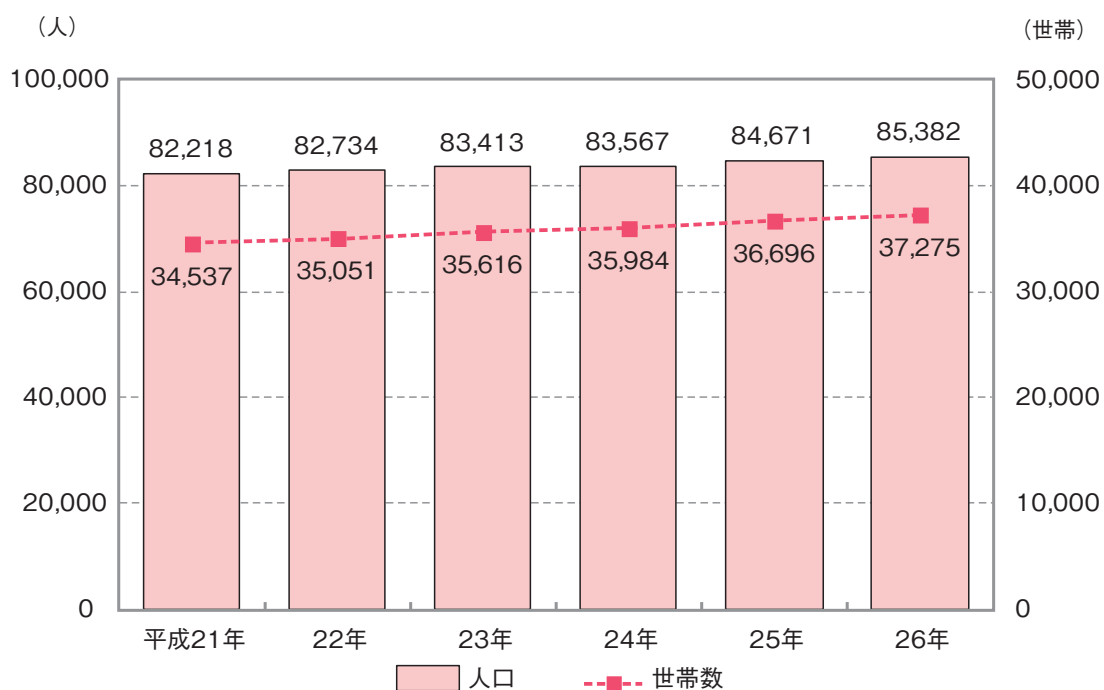


# 1 人口と世帯の動向

## (1) 人口・世帯

- 人口は緩やかな増加を続け、平成21年以降、3,164人増え、平成26年4月1日現在では85,382人となっています。
- 同様に、世帯数も増加の一途で、平成21年と比較して2,738世帯増え、平成26年4月1日現在では37,275世帯となっています。

【図表2-1-1 人口と世帯数の推移】



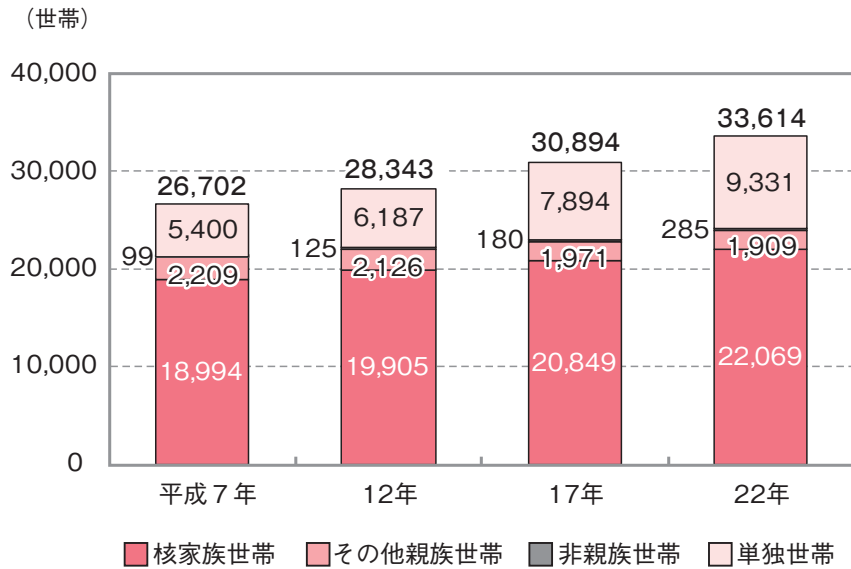
※平成24年7月9日から外国人が住民基本台帳法の適用対象となったため、平成25年以降の数値は日本人と外国人を合わせたものです。

(各年4月1日現在)  
資料：市民課

## (2) 世帯の家族類型

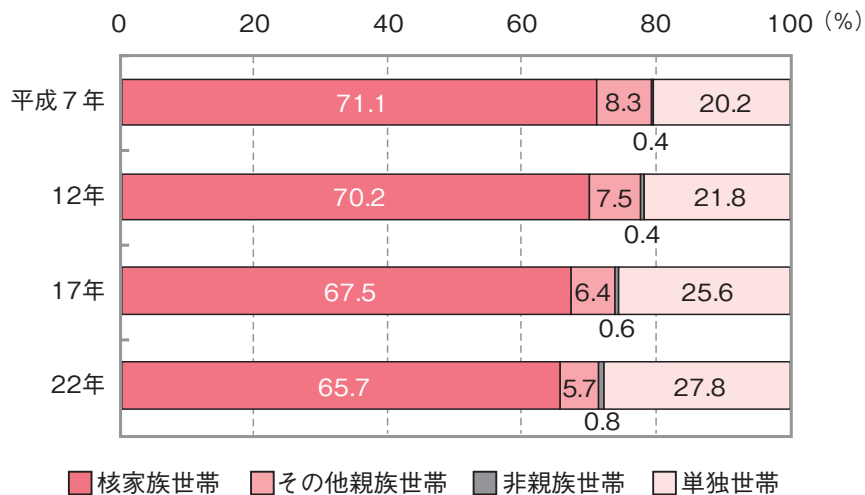
- 増え続けている世帯数を類型別で見ると、平成7年以降、核家族世帯は3,075世帯、単独世帯は3,931世帯それぞれ増加しています。ただし、構成比で見ると、核家族世帯とその他親族世帯の割合は減少し、単独世帯の割合が増加しています。

【図表2-1-2 世帯の家族類型の推移】



(各年10月1日現在)  
資料：平成22年国勢調査

【図表2-1-3 世帯の家族類型(構成比)の推移】



※家族類型総数には不詳を含みます。

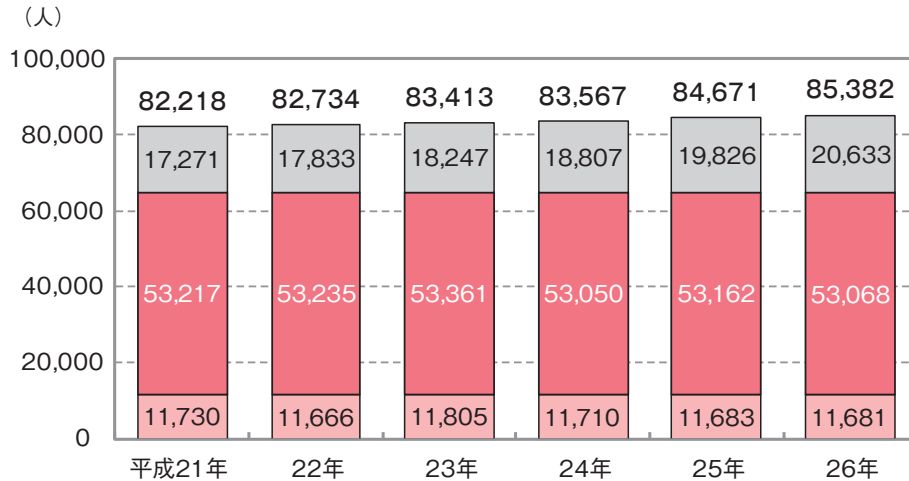
※平成22年国勢調査から家族類型の親族については新分類となりました。

(各年10月1日現在)  
資料：平成22年国勢調査

### (3) 年齢3区分別人口

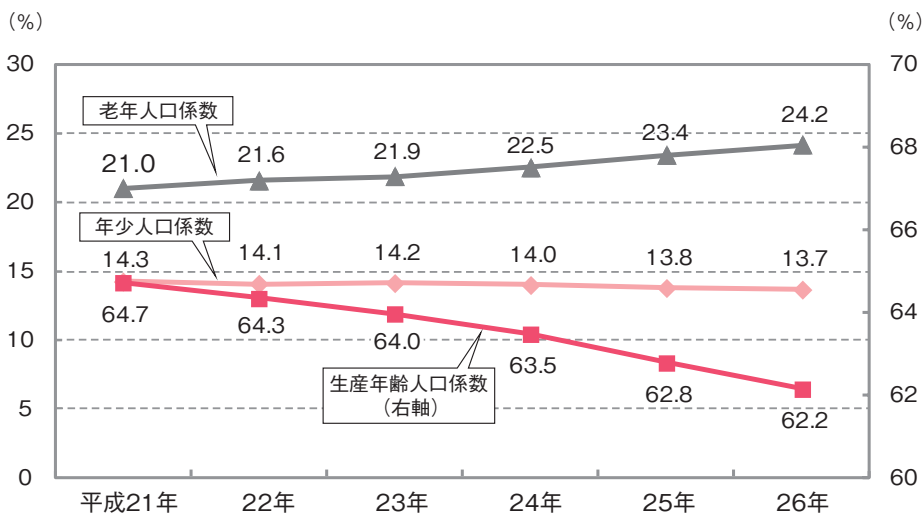
- 近年の人口を年齢3区分別で見ると、年少人口は微減、生産年齢人口はほぼ横ばいの状況にあります。それに対し、老年人口は平成21年と比べると3,362人増加しており、高齢化が進んでいる状況にあります。
- 構成比でも、老年人口の割合は増加している一方で、他の割合は減少しています。

【図表2-1-4 年齢3区分別人口の推移】



(各年4月1日現在)  
資料：住民基本台帳 市民課

【図表2-1-5 年齢3区分別人口(構成比)の推移】



(各年4月1日現在)  
資料：住民基本台帳 市民課

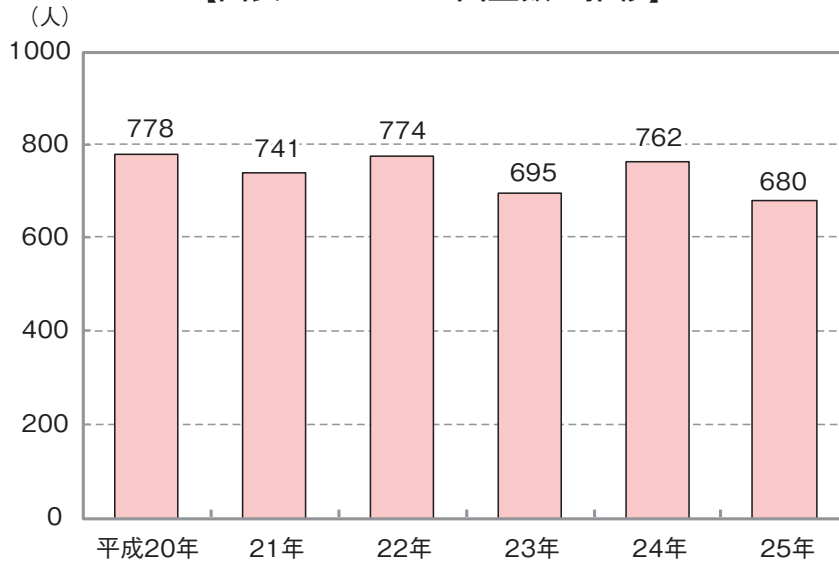
※平成24年7月9日から外国人が住民基本台帳法の適用対象となったため、平成25年以降の数値は日本人と外国人を合わせたものです。

## 2 出生数・合計特殊出生率と就業率

### (1) 出生数

- 近年の出生数は、約700人から800人の間で推移しており、その年によってばらつきがみられる傾向にあります。

【図表2-2-1 出生数の推移】

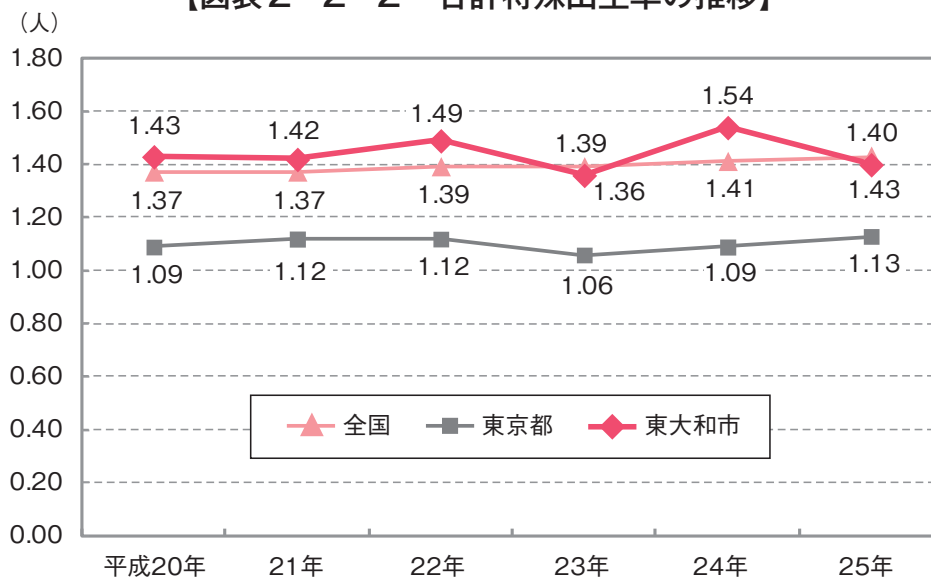


資料：東京都保健福祉局「人口動態統計」

### (2) 合計特殊出生率

- 合計特殊出生率は、東京都と比べると高い水準にあるだけでなく、おおむね国の水準をも上回っています。

【図表2-2-2 合計特殊出生率の推移】

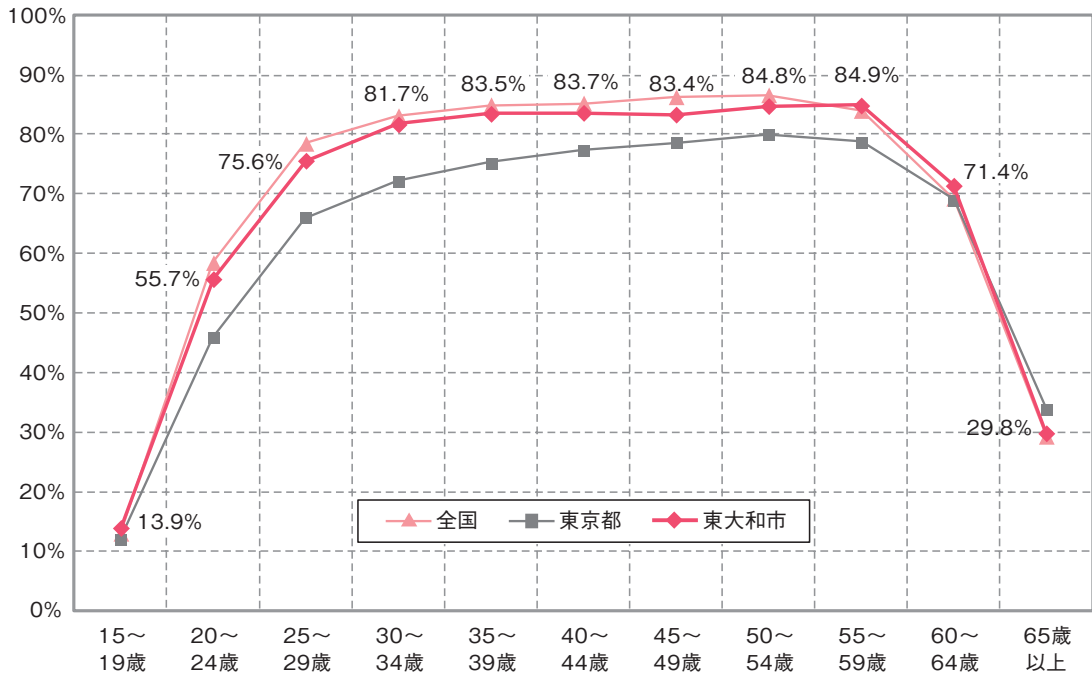


資料：東京都保健福祉局「人口動態統計」

### (3) 就業率

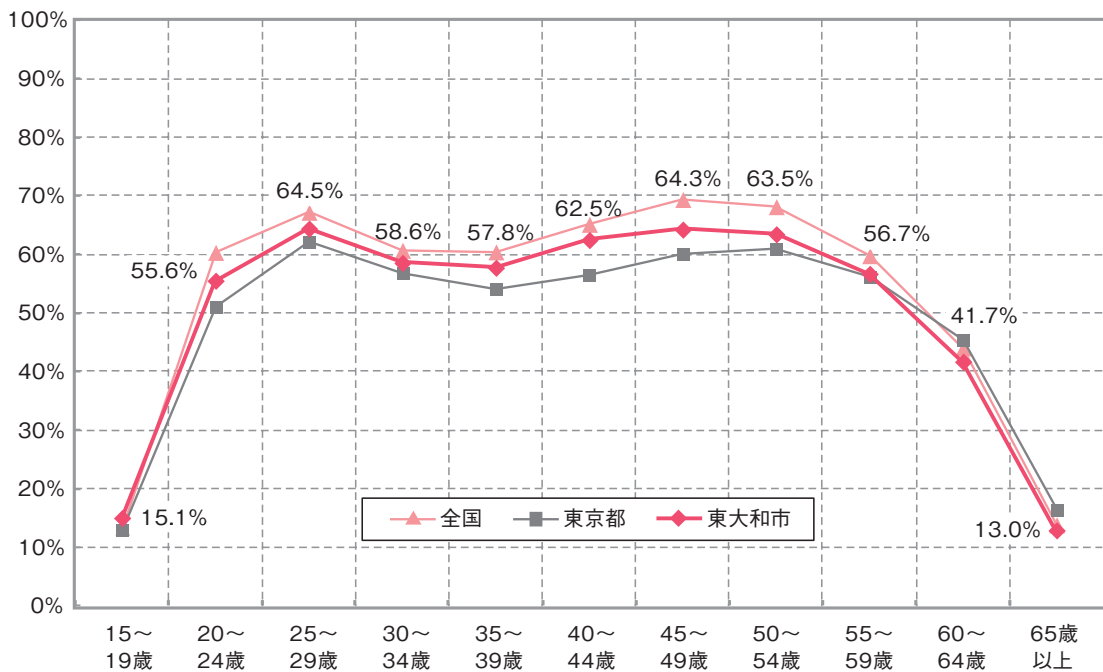
- 就業率を東大和市、東京都、全国で比較すると、男性はおおむね東京都を上回り、全国と同じような数値をなっています。女性は、全体として緩やかなM字型の状況にあり、おおむね東京都と全国の中間の数値となっています。

【図表2-2-3 男性の就業率(平成22年)】



資料：平成22年国勢調査

【図表2-2-4 女性の就業率(平成22年)】



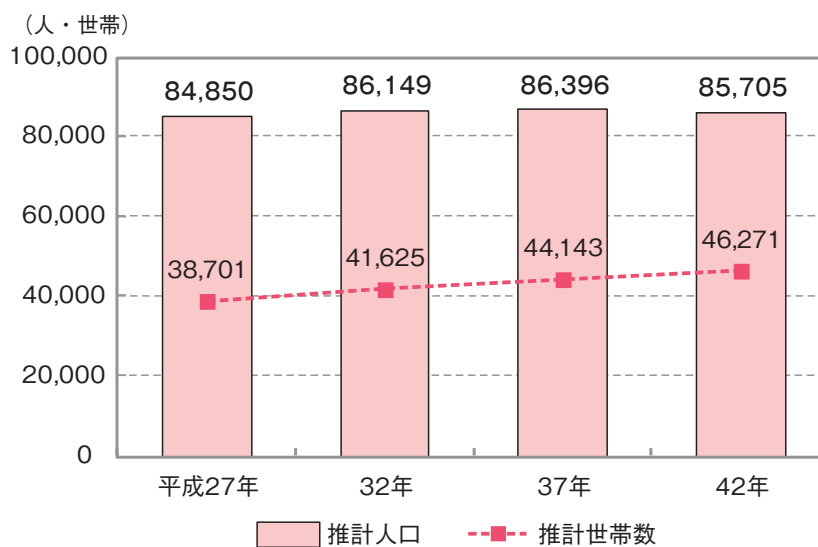
資料：平成22年国勢調査

### 3 将来人口推計

#### (1) 推計人口と推計世帯数

- 将来の人口は、平成37年前後をピークに減少に転じる推計になっています。それに対し、将来の世帯数は増加し続けると予測されます。

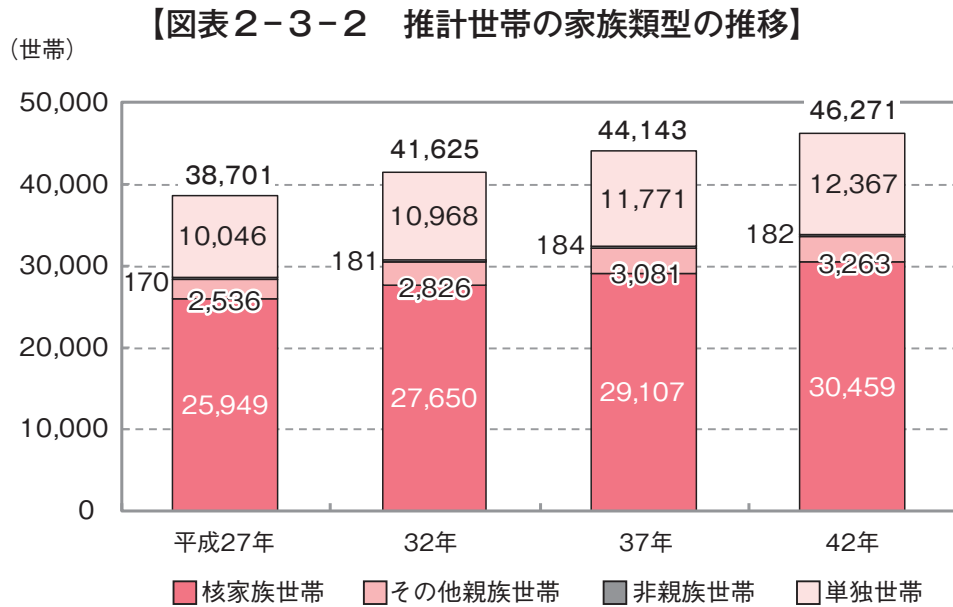
【図表2-3-1 推計人口と推計世帯数の比較】



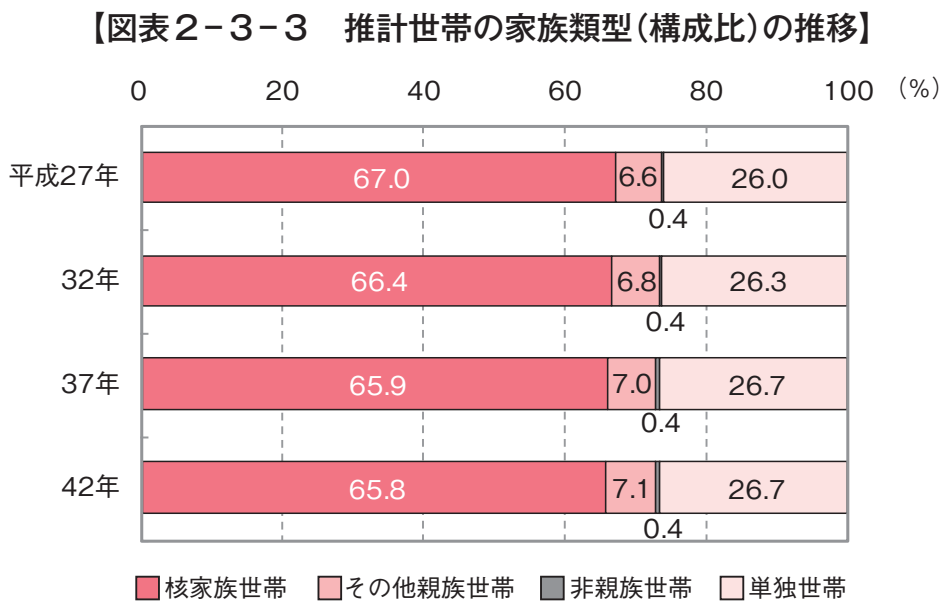
資料：人口推計業務報告書(平成23年)

## (2) 将来の世帯の家族類型

- 将来の世帯を家族類型別で見ると、核家族世帯が4,510世帯、単独世帯が2,321世帯増加することが予測されます。
- 構成比で見ると、平成22年までは単独世帯の割合が増加して、核家族世帯の割合が減少していましたが、平成27年以降、その割合はほぼ変わらずに推移すると推計されます。



資料：人口推計業務報告書(平成23年)



資料：人口推計業務報告書(平成23年)

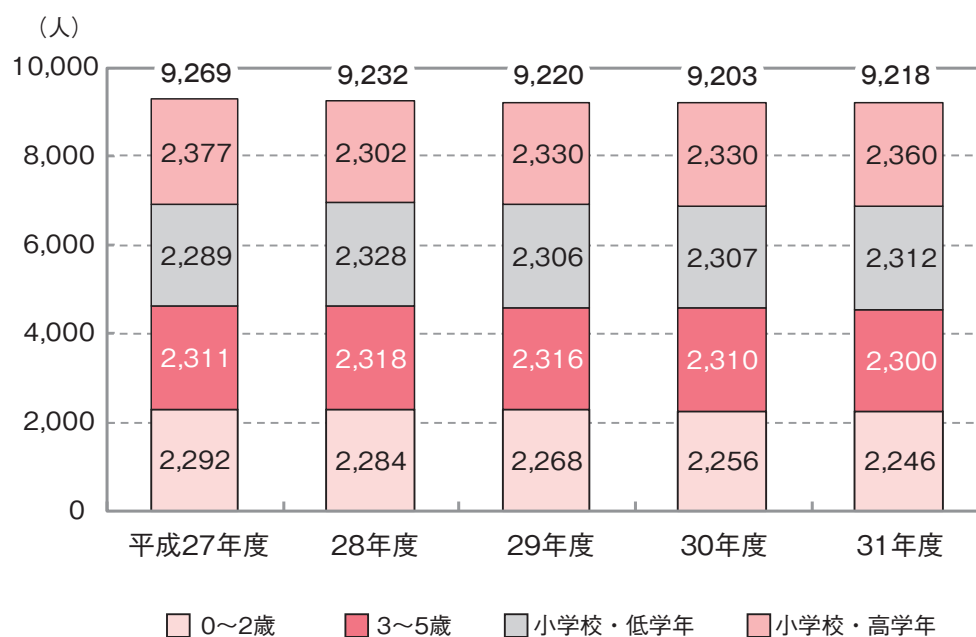


### (3) 計画期間における子どもの推計

- 本計画の期間である平成27年度から平成31年度の5年間に於いて、0歳から11歳の子どもの推移は次の表のように予測されます。
- この5年間で、子どもの人口に大きな変化はみられませんが、若干減少する傾向にあります。

【図表2-3-4 子どもの推計の推移】

年齢	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
0歳	746	740	736	730	724
1歳	770	767	761	758	757
2歳	776	777	771	768	765
3歳	771	772	771	766	760
4歳	772	772	772	771	769
5歳	768	774	773	773	771
6歳	769	766	773	772	772
7歳	795	770	765	770	771
8歳	725	792	768	765	769
9歳	769	732	799	774	769
10歳	788	777	742	808	777
11歳	820	793	789	748	814



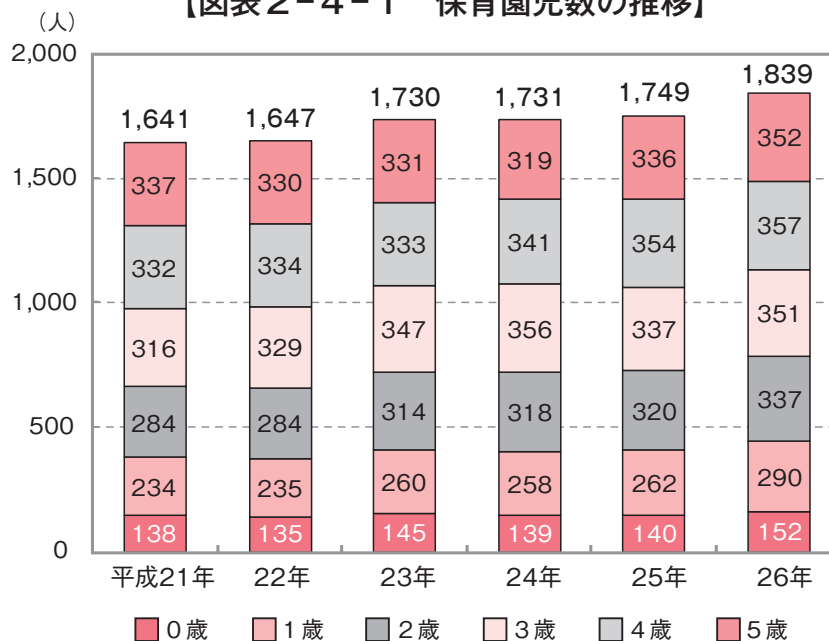
資料：人口推計業務報告書(平成23年)

## 4 子どもの現状

### (1) 保育園

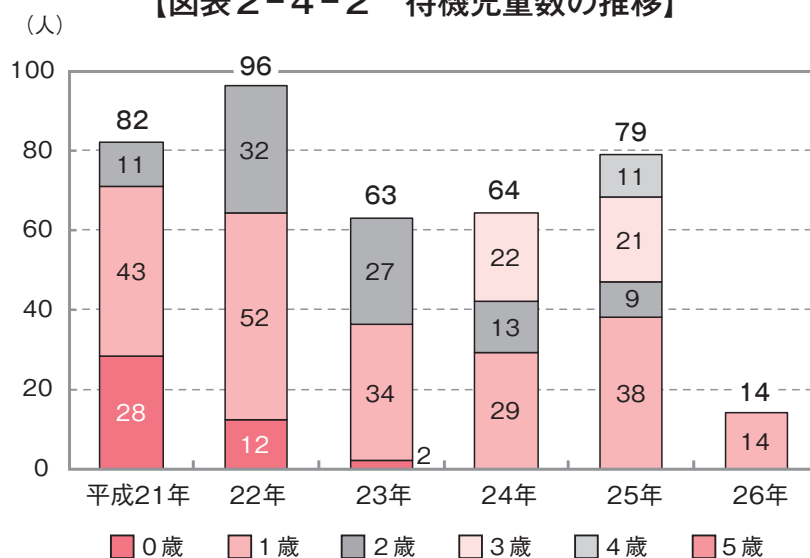
- 平成21年以降、保育園に通う子どもの数は、徐々に増加しています。
- 待機児童数は、平成22年に96人と最も多かったです。平成25年以降、保育園が新設されるなど保育環境が整備され、平成26年には14名となっています。ただし、いずれの年も1歳児に待機児童が多くいます。

【図表2-4-1 保育園児数の推移】



資料：保育課

【図表2-4-2 待機児童数の推移】



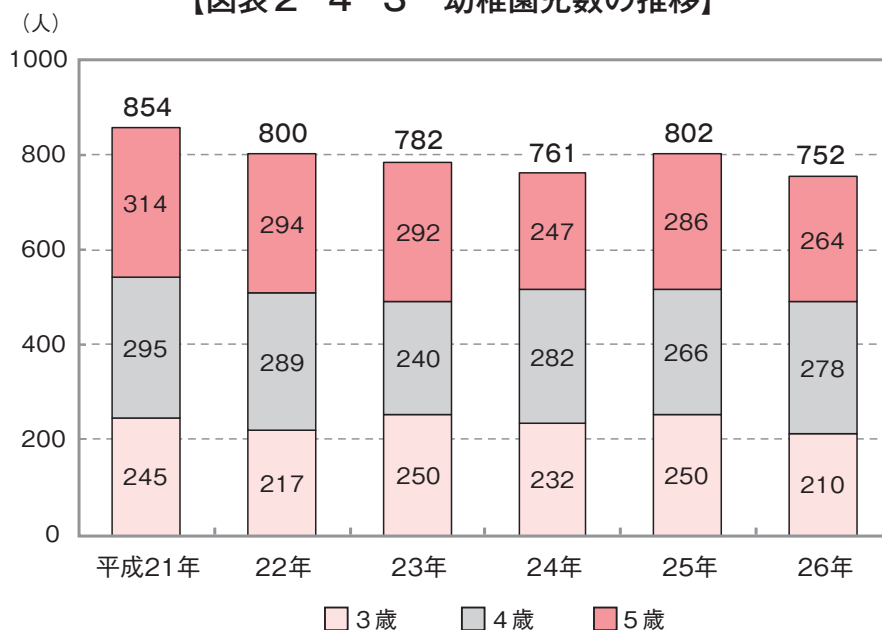
※5歳児に待機児童はなし。  
(各年4月1日現在)

資料：保育課

## (2) 幼稚園

- 市内に幼稚園は3園あり、幼稚園に通う子どもは近年、800人前後で推移しています。

【図表2-4-3 幼稚園児数の推移】

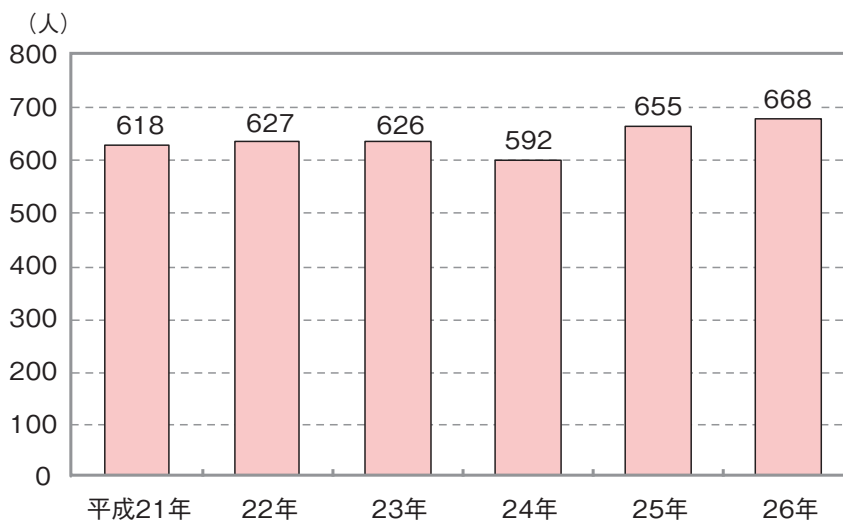


資料：学校基本調査 保育課

## (3) 学童保育所

- 近年では、学童保育所に通う児童数は、おおむね600人前後で推移してきましたが、直近では650人以上となっています。また、市内に学童保育所は10か所ありましたが、平成25年度からは1か所を新設し、合計11か所で学童保育を行っています。

【図表2-4-4 学童保育所入所児童数の推移】



※平成14年度に障害を有する児童の対象学年を6年生までとしました。  
(各年4月1日現在)

資料：青少年課

## 5 ニーズ調査

### (1) 調査の概要

#### 1) 調査の目的

- 本調査は、平成27年度から実施予定の「子ども・子育て支援新制度」の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図り、5年間を一期とする「子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けた貴重な情報として、教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」の把握を目的に実施しました。

### 2) 調査の実施と対象等

#### ア 調査の実施

- ・調査配付日：平成25年10月18日(郵送にて配布、各学校・施設等へ協力依頼)
- ・調査締切日：平成25年10月31日
- ・最終締切日：平成25年11月30日

#### イ 調査の対象と回収結果

区分	対象	配付数	回収数	回収率
未就学児	・0歳児～5歳児 ・無作為抽出	1200部	576部	48.00%
就学児	・小学1年～3年 ・無作為抽出	800部	346部	43.25%
かるがもひろば	・かるがもひろば 利用者	(対面方式)	51部	—

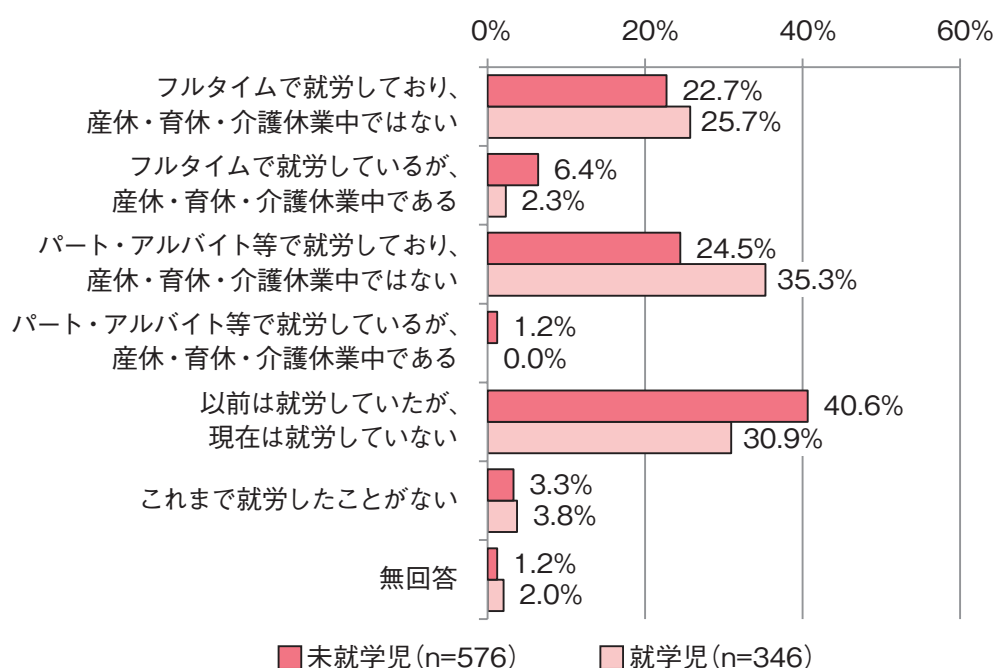
(%は小数点第3位を四捨五入)

## (2) 調査結果

### 1) 母親の就労状況

- 未就学児では「以前は就労していたが、現在は就労していない」が40.6%、就学児では「パート・アルバイト等で就労」が35.3%と最も高くなっています。また、「フルタイムで就労」も高い割合を示しています。
- なお、父親では、「フルタイムで就労」が最も多く、未就学児、就学児ともに90%以上を占めています。

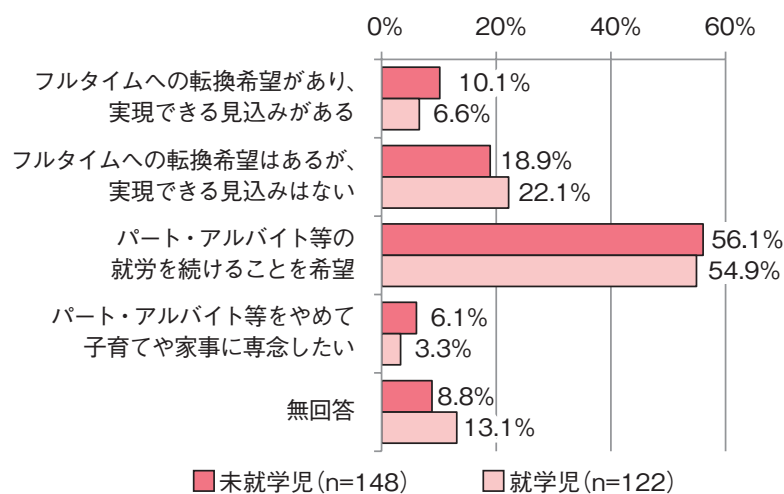
【図表2-5-1 母親の就労状況】



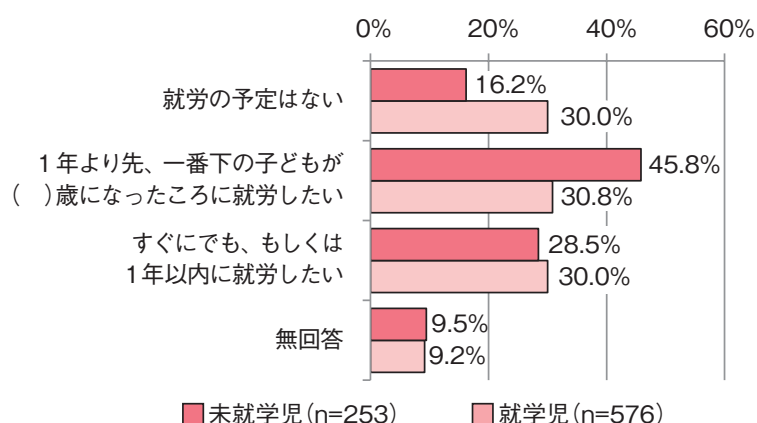
## 2) 母親の就労希望

- パート・アルバイト等で働いている方の希望として、未就学児と就学児ともに、半数以上が現在の就労形態である「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」しています。
- 「以前は就労していたが、現在は就労していない」方や、「これまで就労したことがない」方において、就労に対する希望としては、「1年より先、一番下の子どもが( )歳になったところに就労したい」と、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」とする回答が多く、両回答を合わせて未就学児では70%以上、就学児では60%以上を占めています。
- 「一番下の子どもが( )歳になったところに就労したい」と回答した方において、就労を希望する時の子どもの年齢は、未就学児では「3歳」(23.3%)が一番多く、次いで「6歳」(19.0%)、「4歳」(14.7%)、「7歳」(13.8%)となっています。
- また、就学児では「7歳」(29.7%)が最も多く、「4歳」「6歳」「10歳」(いずれも13.5%)が続いています。平均年齢においても、就学児の方が未就学児より、1歳以上、高くなる傾向にあります。

【図表2-5-2 働いている母親の希望】



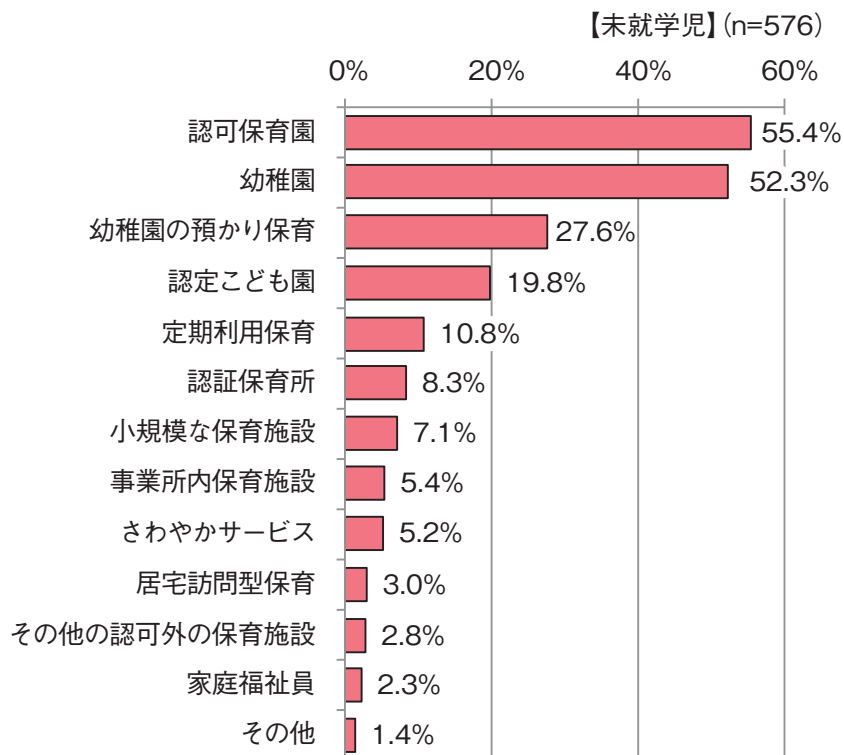
【図表2-5-3 働いていない母親の希望】



### 3) 日常的に利用したい事業

- 現在、利用している・していないにかかわらず、日常的に利用したい事業として、一番は「認可保育園」(55.4%)であり、二番目には「幼稚園」(52.3%)、三番目は「幼稚園の預かり保育」(27.6%)、四番目に「認定こども園」(19.8%)の順でした。多くの方が、保育園か幼稚園を希望されている状況にあります。

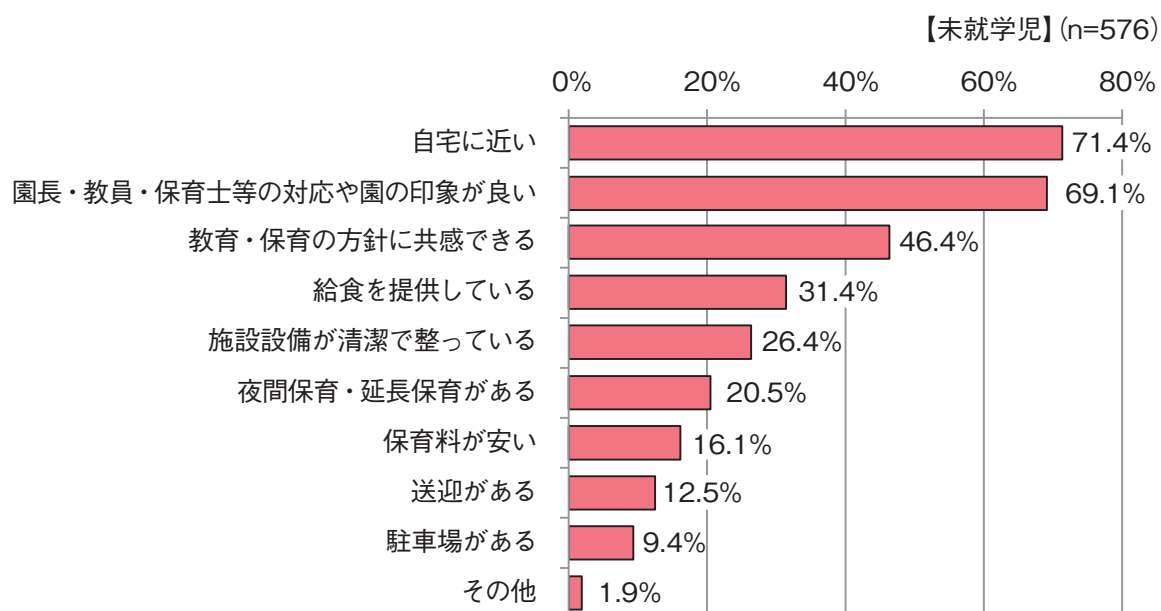
【図表2-5-4 日常的に利用したい事業】



#### 4) 教育・保育を選ぶ際に重視する点

- 平日の教育・保育を選ぶ際に重視する点として、一番は「自宅に近い」(71.4%)であり、二番目は「園長・教員・保育士等の対応や園の印象が良い」(69.1%)、三番目は「教育・保育の方針に共感できる」(46.4%)でした。他には、「給食を提供している」(31.4%)、「施設設備が清潔で整っている」(26.4%)、「夜間保育・延長保育がある」(20.5%)が、比較的多くあった回答でした。
- 自宅に近くて園の印象が良いことが、教育・保育を選ぶ際に求められ、次いで、給食や施設設備といった点が重視される結果となっています。

【図表2-5-5 教育・保育を選ぶ際に重視する点】





### (3) 自由意見

- 東大和市における子育ての制度や支援についての考えや希望、要望などについて、未就学児では400名、就学児では228名の方から合計805件の回答が寄せられました。内容別にみた主な意見は次の表のとおりです。

【図表2-5-6 ニーズ調査における自由意見まとめ】

意見の内容	件数	主な意見
一時保育・子ども家庭支援センターについて	93	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一時保育の予約がいつも満杯でとれない。定員が少なすぎる。</li> <li>・実施個所を増やして欲しい。急な用事の時に利用できず困る。</li> <li>・一時保育の予約を電話予約できるようにしてほしい。</li> </ul>
保育園について	158	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園に入りたくても入れない。待機児童の早期解消を望む。</li> <li>・家計のため働きたいが、保育園に入れないため、働けない。</li> <li>・空地を活用して、小規模保育園などを誘致してほしい。</li> </ul>
幼稚園について	47	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に対する補助金を近隣市の水準に合わせてほしい。</li> <li>・幼稚園の無償化保育を早期に実現してほしい。</li> <li>・幼稚園が中心街にないのは困る。市の南部の方にもほしい。</li> </ul>
学童保育について	108	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高学年も利用出来たら安心して働くことが出来る。</li> <li>・早朝7時から20時までの預かりや、土日・長期休暇中にも預かってほしい。</li> <li>・学童保育の質を高めて、充実させてもらいたい。</li> </ul>
学校・放課後子ども教室について	75	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力が低いのが心配。市は学力向上に努力すべき。</li> <li>・学校施設が古い。改修などで学校施設を充実させてほしい。</li> <li>・放課後子ども教室の回数をもっと増やしてほしい。</li> </ul>
児童館について	23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館によって設備等が古い狭い。施設の中身の差が大きい。</li> <li>・ランドセル来館の時間を拡大してほしい。</li> <li>・授乳やおむつ交換ができる場所や授乳室を作してほしい。</li> </ul>
公園・遊び場について	63	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の遊具が少ない。遊具をもっと増やしてほしい。</li> <li>・雑草やゴミが多く、きれいな公園が少ない。</li> <li>・ボール遊びができず、広くて良い公園なのにもったいない。</li> </ul>
母子保健・医療について	43	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフルエンザ等の予防接種を無料か助成にしてほしい。</li> <li>・医療費の自己負担分や所得制限を無くしてほしい。</li> <li>・休日・夜間診療を拡大してほしい。</li> </ul>
病児・病後児保育・障害児保育等について	83	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病児保育の預かってくれる時間帯が短く利用できない。土日も病児保育をしてほしい。</li> <li>・市内で複数利用できる場所があると、より利用しやすくなる。</li> <li>・健常者の子にとっても、障害のある子たちにとっても一緒に学びあう環境が好ましいと思う。</li> </ul>
子育て制度・行政について	36	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンション建設が進んで、子育て世代が多数転入しているのに、保育園・学童などの対応が遅い。</li> <li>・どんな制度があるのかよく分からず、もっと周知してほしい。</li> <li>・働き方が多様化している。日曜祝日でも保育が必要。</li> </ul>
その他	76	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不審者が多い。街灯がもう少し多くなるとよい。</li> <li>・周りをもっと子どもを預けた方がよいという環境や考えになってくれたらありがたい。</li> <li>・父親の意識を子育てに向けられるサポートが向上したらよい。</li> </ul>